

ローム・被災地支援コンサート

# 大阪交響楽団

“ともに奏でる明日への旋律”

～大阪交響楽団と福島の小中学生が大合奏～



指揮 本名徹次  
演奏 大阪交響楽団  
共演 郡山市立小中学校(10校)

3月29日(木) 14:00開演

郡山女子大学建学記念講堂

**Osaka Symphony Orchestra**

■主催 一般財団法人 大阪シンフォニカー協会 ■共催 (株)福島中央テレビ  
■後援 福島県 郡山市 郡山市教育委員会 郡山市音楽教育研究会

助 成：公益財団法人 ロームミュージックファンデーション 協 賛：ローム株式会社

大阪交響楽団 特別演奏会 ～ともに奏でる明日への旋律～

◆ プログラム ◆

<哀悼の意をこめて>

バーバー 弦楽のためのアダージョ

<郡山市内の小・中学校管弦楽部との共演>

マスカーニ 歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲

スーザ 行進曲「星条旗よ永遠なれ」

杉本 竜一 Believe

ビゼー 歌劇「カルメン」前奏曲

<共演児童・生徒全員で>

J・シュトラウス ラデツキー行進曲

~~~~~休憩~~~~~ <<20分>>

<大阪交響楽団の演奏>

ブラームス ハンガリー舞曲 第1番

ドヴォルザーク スラブ舞曲集より

第 1番 作品46-1

第 7番 作品46-7

第 8番 作品46-8

第 9番 作品72-1

第10番 作品72-2

第15番 作品72-7

スメタナ 連作交響詩「わが祖国」より“モルダウ”

<合唱 特別出演・ピクダム>

岡野 貞一 故郷(ふるさと)

<<司会>> 中山可那子(福島中央テレビ)

*Believe* (ビリーヴ) 杉本竜一作詞・作曲

- 1、たとえば君がきずついて くじけそうになったときは  
かならずぼくがそばにいて、ささえあげよその肩を

世界中の希望をのせて この地球はまわってる

- \* [ 今 未来のとびらをあけるとき  
かなしみや苦しみが  
いつの日か 喜びに変わるだろう  
I believe in future 信じてる

- 2、もしもだれかが君のそばで 泣き出しそうになった時は  
だまって腕をとりながら いっしょに歩いてくれるよね

世界中のやさしさで この地球をつつみたい

今 素直な気持ちになれるなら

あこがれやいとしさが

大空にはじけて光るだろう

I believe in future 信じてる

\* (くり返し)

**故郷** (ふるさと) 高野辰之作詞 岡野貞一作曲

- 1、うさぎ追いしかの山  
小鮒つりしかの川  
夢はいまも めぐりて  
忘れがたき故郷

- 2、いかにいます父母  
恙なしや友がき  
雨に風につけても思いいずる故郷

- 3、こころざしを果たして  
いつの日にか帰らん  
山はあおき 故郷  
水は清き故郷

つながろう

ふくしま

## Osaka Symphony Orchestra



定期演奏会は年10回、名曲コンサートは年5回(10公演)、ほかに特別演奏会、東京公演を開催するなど主催公演も充実している。今回の共演コンサートは、楽団からの提案によって実現した。

## 大阪交響楽団

楽団代表・敷島博子が『聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を!』をモットーに提唱し、1980年創立。初演奏は、同年12月のベートーベンの「第九」、会津若松市において演奏された。また今回、指揮者に迎えるベトナム国立交響楽団の音楽監督、本名徹次氏が、2001年までの6年間、常任指揮者を務め、定期的に郡山市で公演を行うなど、福島県とも浅からぬ関係がある。

2002年12月、日本・ルーマニア交流100周年を期して、初のヨーロッパ公演を行い成功を収めた。また、2003年3月には、ベトナム・ハノイ市で日越外交樹立30周年記念の公演を本名徹次氏とともにに行った。2010年には“平成21年度文化庁芸術祭「芸術祭大賞」”を受賞。

## Tetsuji Honna 本名徹次



現代音楽の指揮に意欲的に取り組んでおり、レパートリーはメシアン、ブーレーズ、タン・ドゥンのみならず、伊福部昭、早坂文雄、武満徹、湯浅譲二、佐藤聡明、権代敦彦といった日本人作曲家の系譜も網羅する。近年はオペラ指揮にも積極的で、高木東六「春香」、芥川也寸志「ヒロシマのオルフェ」、一柳慧「モモ」や、2004年のマデルナ「サテュリコン」(日本初演)等を指揮。

2009年2月、2001年よりミュージック・アドヴァイザー兼指揮者を務めていたベトナム国立交響楽団の音楽監督・首席指揮者に就任。2011年10月にベトナム響初のアメリカ公演を、ニューヨークのカーネギーホールとボストンのシンフォニーホールで行なった。

1995年～2001年には、大阪交響楽団の前身、大阪シンフォニカー交響楽団の常任指揮者を務め、シューベルト交響曲全曲シリーズを完結させている。今回のコンサートではその趣旨に賛同し、忙しいスケジュールの合間を縫って、ベトナムから駆けつけてくれた。郡山市出身。

## 共演小中学校

(金透小、橘小、開成小、芳賀小、赤木小、桜小、朝日が丘小、郡山二中、郡山五中、緑ヶ丘中)

郡山市は、2008年3月に「音楽都市こおりやま」を宣言。合唱王国ふくしまを代表する都市として、市民の音楽意識は高い。合唱部門においては毎年、全国大会での活躍が目立つが、管弦楽部門も全国トップレベルにある。指揮者・本名徹次氏の母校でもある郡山二中管弦楽部は、今年度、全国学校合奏コンクール(内閣総理大臣賞)、こども音楽コンクール(文部科学大臣奨励賞)のふたつの大会で日本一を受賞するなど、小中学校の合奏部門の充実ぶりは、全国的にみても際立っている。

今年度は、東日本大震災の影響で、日ごろの研鑽の成果を発表する機会が減っていたが、今回の大阪交響楽団との共演コンサートは、直接プロの演奏に接する機会でもあり、児童生徒にとって貴重な経験になることを期待したい。

## 《特別出演》 合唱団 Piques Dames(ピクダム)

Olga Shyp / Roza Tulyaganova / 大塚 友紀(アメリカ)

Piques Damesは、ロシア音楽メドレー、オペラフェイバリット、世界のホリデーミュージックという3つの人気プログラムを演奏しており、ニューヨーク地区での公演やイベント、慈善/募金コンサートで披露している。今月、福島市で開催された第5回声楽アンサンブルコンテスト全国大会に出場するために来日。このコンサートにも特別出演してくれることになった。

2011“音楽都市こおりやま”市民音楽祭参加行事